

公的年金制度への信頼を回復すべく、年金記録への
速やかな対応を求める意見書

公的年金は、国民の高齢期における生活を支える重要な制度です。しかしながら、中にはきちんと納めている年金保険料の納付記録そのものが紛失しているという、社会保険庁によるずさんな管理体制や、社会保険庁の特異な労働慣行により、基礎年金番号の統一が遅々として進まず、未だに5000万件も残っている問題など、公的年金制度に対する国民の信頼は大きく毀損しています。

よって本議会は、国に対し、国民がこれまで納付した保険料に見合った年金が受給できるよう、次の事項を含む政策の実施を強く要望します。

記

- 1 未納扱いになっている方の納付記録を復元するため、全国の社会保険事務所は、現在市町村に残っている資料とコンピュータのデータとを早期に照合し、すべての納付記録が正確に入力・管理されるようにすること。
- 2 すべての加入者に納付履歴を送付して、納付履歴の確認をお願いすること。
- 3 完全に納付記録が消失してしまった方については、新たに設立される第三者委員会に判断を委ね、国において加入者側の証言を最大限に尊重すること。
- 4 社会保険庁の改革を速やかに行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年7月2日

宇都宮市議会

内閣総理大臣 }
厚生労働大臣 } あて
衆・参両院議長 }